

第11回先進的研究開発戦略センター戦略推進会合 議事概要

○開催日時 令和8年6月15日（月）16時00分～18時00分

○場 所 国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）201会議室

○出席者

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター長 濱口 道成

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター

プロボスト 藪田 雅之

内閣府健康・医療戦略推進事務局長 内山 博之

内閣府健康・医療戦略推進事務局次長 仙波 秀志

内閣府健康・医療戦略推進事務局参事官 田中 大平

文部科学省 大臣官房審議官（研究振興局及び高等教育政策連携担当） 生田 知子

厚生労働省 健康・生活衛生局 感染症対策部長 鷺見 学

経済産業省 商務・サービスグループ生物化学産業課 課長補佐 田中 健太郎

東京大学国際高等研究所新世代感染症センター 機構長 河岡 義裕

国立健康危機管理研究機構 副理事長 脇田 隆子

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開発事業部長 宮本 拓人

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 先進的研究開発戦略センター 先進的研究開発事業部 研究総括役 倉持 憲路

■議 事

1. 構成員等からの情報共有
2. ワクチン・新規モダリティ・治療薬等研究開発事業の課題選考等について
3. SCARDA戦略2.0について

■概 要

- 構成員等から、各府省および関係機関における感染症対策、MCM（ワクチン・治療薬・診断薬）研究開発、製造基盤整備、国際動向等について、それぞれの取組状況や最近の動向に関する説明があった。
- SCARDAからは、ワクチン・新規モダリティ・治療薬等研究開発事業における新規採択課題の概要及び治療薬・診断薬の開発に係る新規公募の概要、感染症危機対応医薬品等の研究開発プラットフォーム事業の事業体制等について説明があった。続いて、「SCARDA戦略2.0（案）」についても説明が行われた。
- 意見交換では、100日ミッションの実装に向けた課題、アカデミアにおける治療薬・診断薬研究開発のボトルネック、臨床試験や製造段階における課題、産業界・CROとの連携、国際枠組みとの役割分担、平時に患者数が少ない重点感染症における臨床試験以降の開発パイプラインの考え方等について、幅広い議論が行われた。

以 上